

令和3年6月28日

学生・教職員の皆さんへ

保健管理センター

本学においても、コロナワクチンの職域接種が実施されることとなり、本学危機対策本部より実施日程等の周知や、接種希望調査が近日のうちに Rowe 行われます。

ワクチンについての情報や、接種における注意事項等を列記しましたので、後日行われる接種希望調査を回答する前に必ず御確認ください。

なお、ワクチン接種は、接種することによる発症予防と副反応を理解した上で、自らの意思で受けていただくものですが、特に学生の方については、接種を受けるかどうか決める上で保護者の方等と相談することを推奨します。

【ワクチン】

武田 / モデルナ社ワクチンです。4週間の間隔で2回接種します。

【接種機会】

- 住民票が高知市以外（他県を含む）でも、本学の職域接種を受けることができます。
- 本学で実施される職域接種について、日程が合わない等により接種できない場合は、住民票のある市町村での接種となります。

【接種において】

- 接種日の2日前からは、必ず連絡がとれるようにしておいてください。
- 当日は自宅で体温を測定してきてください。
もしも、発熱等により体調が悪い場合は接種を控え、**必ずキャンセルの連絡をしてください（連絡がない場合、ワクチンが無駄になってしまいます）。社会における1人として自覚しましょう。**
- ワクチンは上腕の筋肉に接種するため、肩の出しやすい服装にしてください。

- 注射による失神やめまい（迷走神経反射）等を起こす方もいます。注射に慣れていない方、これまでに注射や採血で気を失ったり、めまいが起きたことのある方は、予診票（「これまでに予防接種を受けて具合が悪くなったことはありますか」の項目）にチェックするか、接種当日に申し出るようにしましょう。

【副反応など】

- 接種後は15分（場合によっては30分）以上、接種を受けた場所で待機し、体調に異常を感じた場合は、その場で速やかに申し出てください（その場に居る医療従事者が急に起こる副反応に対応します）。
- 接種当日は激しい運動や過度の飲酒を控えましょう。入浴は構いませんが注射した部位を強くこすらないようにしてください。
- 接種翌日以降（特に2回目の接種後）に、局所性（注射部位）の痛みや腫れ、全身性の症状（頭痛、疲労感、筋肉痛、悪寒、発熱等）が多く報告されています。ほとんどの場合は数日で改善しますが、改善しない場合や症状が強い場合、普段とは違う体調変化を感じた場合は、医療機関に相談してください。

【接種までの事前準備など】

- 特に学生の方は、保護者の方等に接種日を伝えておきましょう。
 - 接種において記入する予診票には、住民票に登録している住所を記入することとなりますので、登録している住所を確認しておいてください。
 - 学生の方には、日程や集合場所等についての再確認メッセージが、接種日の数日前に送信されますので、必ず確認してください。
 - もし、接種をキャンセルする必要がある場合は、接種日の前日までに学生は所属学部教務担当係、教職員は人事課安全衛生係まで必ず連絡を入れてください。
 - 解熱鎮痛剤や水分補給のための飲料（OS-1等）、また食料も準備しておくとおく安心です。
 - 接種した翌日に、副反応のため学校や仕事に行けない人もいますので、翌日以降のスケジュールは加味して決めた方がいいかもしれません。
 - 接種後に、住民票のある市町村よりワクチンの接種券（クーポン）が届く場合がありますが、**本学で職域接種を受けた方は大学に御提出いただく必要はありません。これについての連絡があるまで、捨てずに保管しておいてください。**
- なお、高知県内の各市町村には接種券の早期発行を大学から要請しますので、接種日までに届く方もいるかと思いますが、**接種日当日に持参していただくかは未定です。接種後に提出（接種日に持参不要）とする可能性もありますので、この場合は連絡があるまで捨てずに保管しておいてください。**